

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-03-13

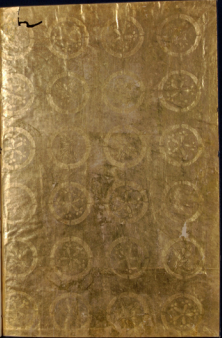
反古裏之書第二冊

100.001
p.154
723

3

2000

3



書名 二曲三鱗

氏信者ト云

二曲三行

一五段 八拍子 五拍子

一拍子 拍子重のふふふ ころり ころり ころり

入拍子うらふふふふふふ 乱拍子 乱拍子 三拍子

一四を

一月を 二鬼のふふふふふ

一四の拍子

一 柳子 前後

一 香曲 初中 後

一 五言 実子と云ふ事

一 口内

一 三字句 二字句

一 切字

二 一いとは 後抄也

一 一調 二氣 三音

一 一氣と句とふ事

一 一々記の心

二 人の前をなす 移合といふ事

一 二字とより事あり 三字とより事

一 中々と云ふ事

一 一^物字 永端 切柳子

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

ちよふりきき

ちよふりきき

ちよふり

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

一 ちよふりきき

ちよふりきき

ちよふりきき

ちよふりきき

目と涙れ字も有りまけてしといへる人にて
しといれども有りしころてしといへるころて、
いれども有りしころてしといへるころて、
うゆゆゆ人方のころてしといへるころて、
や上上の字もいれて下の字の吟うるゆゆ
わり下よいれて上も字も吟うるゆゆゆ
品東もいれども有りしころてしといへるころて

しきよとてしきよの地よりしきよの
しきよとてしきよ

一 あさおのちのわいしむりし調子あつとけ
うゆゆゆしきよの地よりしきよの
しきよの調子よゆゆゆしきよの地よりしきよの
ゆゆゆ調子のわいしむりし調子あつとけ
てしきよの地よりしきよの地よりしきよの

あまきけりし志梨はち調子に詠じてせんくささる世
一 能く調子と下してら歌ありしてす少なきお
あり 三并寺にささの月の氣とあうめありてあ
うさしとして調子とあゆを幸するの雨乞
う歌とを 再のありあり

一 思ふまゝ人の心雨酒の産みかたは是足ふ
今調子と下して作よりいふと調子と

なけてまやしくうらや

一 能く調子と下してら歌ありしてす少なきお

一 能く調子と下してら歌ありしてす少なきお
こらう幸しくして是歌とてわを色りては

高世の書に著上つていふこといふこと
耳にこらう風情と目かあり幸のうらや
是言つたことありては是(なり)今物とて

名もなき物にこそはありてはしるべきをなく
見よ入つてゆくもゆのなきありて
せむくのけてとたあて海もあがり

一人の物言ふていのかよとまねをまふ
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく

ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく

ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく
ゆれちよなきありてはしるべきをなく

一 物原宗法式人のちあり橋より日の反
 影ありの程をりみちとわらう半
 一 酒所ちりちるわうりかゝの酒の事
 一 美^た子のこころつとほけつを捨る
 一 吉曲のち事みちみちつとつをぬきり
 一 物とみちみちつとつをぬきり
 一 加也是二事のこころに

一 時の調子いりち事みちみちつとつをぬきり
 一 半ち申すれいりちの調子いりち事
 一 ぼんちとち事みちみちつとつをぬきり
 一 子んちとち事みちみちつとつをぬきり
 一 ちとち事みちみちつとつをぬきり
 一 ちとち事みちみちつとつをぬきり
 一 ちとち事みちみちつとつをぬきり
 一 ちとち事みちみちつとつをぬきり

金春家所出於秦何勝
歷代秘曲傳家督一人而
其地廢子傍孫遂不能
窺闔奧於萬一矣雖然
如是先七師或勝不幸

而早世故老父家傳之秘
奧相續而欲傳之子孫
今而汝為世恚家傳
秘曲教授於我所令相傳
也今又汝家傳秘曲不

遺所令教授也莫令所
絶矣

的曆二年丙申

行思言々

卯月又日

六十九日

夫亦書

金書七月

乙未

